



開倫塾に学校教科書・学校問題集を持参してください  
— 万全の「定期試験対策」を行うためです —

開倫塾 塾長 林 明夫

開倫塾教育目標  
高い学力  
高い国際理解  
自己学習能力の育成

1. 開倫塾は、おかげさまでこの10月に創業45周年を迎えました。皆様の御理解・御協力を心から感謝いたします。ありがとうございます。

2. (1) 開倫塾の塾生目標の第1は、「定期試験」でよい点数を取り、「学校成績(校内順位)大幅アップ」を図ることです。

(2) この目標を達成するためには、「学校教科書」「学校問題集」を大切に、「スミからスミまで」いねいに学び、理解すること。そして、「身に着けること(定着させること)」が欠かせません。

(3) そこで開倫塾では、「開倫塾テキスト」を学習すると同時に、これからの「定期試験」で「よい点数(できれば100点満点)」を取り、「学校成績(校内順位)大幅アップ」を実現するために、「学校教科書」「学校問題集」を、授業中と自学自習の時間に、今まで以上に学習して頂くことにいたしました。

(4) 10月から、開倫塾では、「授業」と「自学自習」で、「学校教科書」「学校問題集」を使用しますので、毎回、必ず持参するようにお願いいたします。

4. (1) 「学校教科書」「学校問題集」は学校に置いてこないで、必ず持ち帰ること。

(2) 開倫塾に「学校教科書」「学校問題集」を持参し、開倫塾の授業を受けること。

(3) 開倫塾で、夜10時30分(東京は夜10時)まで、「学校教科書」「学校問題集」を用いて「自学自習(予習、復習、定着)」すること。

○そして、10月から来年3月までに行われる「定期試験」で、全教科、できるだけよい点数(できれば100点満点)を取り、「学校成績(校内順位)大幅アップ」を目指しましょう。

5. (1) 「学校成績(校内順位)大幅アップ」は、数教科だけ「よい点数(できれば100点満点)」を取るだけでは、実現しません。

(2) できるだけ多くの教科で「よい点数(できれば100点満点)」を取ることを目指しましょう。

(3) ①そのためには、「学校教科書」「学校問題集」を置いてこないで、全教科、必ず持ち帰る。

② 家庭学習や開倫塾の授業、開倫塾での自学自習で、積極活用。できれば、「学校教科書」は「スミからスミまで覚える」。

④ 「学校問題集」は何回も解き直し、できない問題をなくす。

6. 「学校教科書」「学校問題集」の「予習」「復習(定着)」の仕方  
① 「学校教科書」の予習の仕方  
① どのような内容が書いてあるのか、たとえ5分でもよいかから教科書をゆつくり読んでみるだけでも、「予習」

としてはOKです。

② 時間があつたら、教科書を読んで、よくわからないことばがあつたら「辞書」で調べ、ノートにメモ。よく知らない「用語」があつたら、教科書の説明をよく読む。ノートにその「用語」の教科書の説明や「ことばの意味」「定義」を書き写すのも素晴らしい「予習」です。

◇「予習」が一番大事なのは、一つ一つの学習項目(ポイント)について、授業の前に自分の力で考え、メモしておくこと。

(2) 「学校問題集」の予習の仕方

① 「教科書の予習」を一通りした後、元気があつたら「学校問題集」にチャレンジ。  
② ノートに解答を書いて、授業中に答え合わせ。

③ 先生の説明をノートに書き込み、なぜそのような解答になるのか考える。

(3) 「学校教科書」「学校問題集」の「復習(定着)」の仕方(前半)

① 先生の授業を思い出し、もう一度一語一句でいねいに「学校教科書」「授業ノート」を読み直すこと。そして、「なぜ」そうなるのかを自分の力で考えること。

② 教科書で学んだ範囲について「学校問題集」をノートにゆつくり解くことは、素晴らしい「復習」です。よくわからない計算や問題は「学校教科書」や「開倫塾のテキスト」を何回も読み直して考えましょう。

③ それでもわからなかったら、学校の先生や開倫塾の先生に質問してくださいね。  
(4) 「学校教科書」「学校問題集」の「復習(定着)」の仕方(後半)  
① 全教科の「学校教科書」をスラスラよ

く読めるようになるまで声を出して読む。「音読練習」と、大切なところは何も見ないで言えるようにすること(暗唱)。  
② 各教科の教科書に出ている「語句」や「用語」その「定義(意味)」は、描書で正確に書けるようになるまで「書き取り練習」。  
③ 「教科書」や「学校問題集」の計算や問題は、パツパツパツと正解が出るまで、何回も解き直す。  
○これが、定期試験で「よい点数(100点満点)」を取るポイントです。

7. 最後に一言

(1) 小学校や中学校・高校の勉強は役に立つのか。役に立ちます。小学校の勉強は中学校で、中学校の勉強は高校で、高校の勉強は大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院ですべて役に立ちます。学校で勉強したことは、社会に出て仕事や社会的活動、充実した人生を送るとき、よく生きるのにすべて役立ちます。

(2) 学校の教科書を「予習」し、何を勉強するかを知り、「授業」で理解を深めて、「復習(定着)」をきちんと行い、学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)ようにしましょう。

(3) その上で、「定期試験」や「入学試験」に向けて、より深い勉強を積み重ね、よい点数、定期試験では100点、入学試験では合格点を目指しましょう。「定期試験」や「入学試験」の勉強は、今までの学んだことをしっかりと身に着け、「自分のことばで言える(表現・説明できる)」ようになるのにとっても役立ちます。

10月開倫塾に「学校教科書・学校問題集」を毎回必ず持参し、授業と自学自習に御活用ください。

\* 「学校教科書」「学校問題集」で基礎的な知識が身に着いたら、順次、「定期試験」の過去に出た問題や予想問題を繰り返して練習し、「応用力」を身に着けましょう。



(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授 作新学院 大学 客員教授)